

令和7年度 事務事業評価一覧

No.	所管課名	事務事業名	事務事業の目的	令和7年度の主な取組	支出合計 (千円)	指標名(単位)	目標値	実績値	中長期的方向性
1	文化・スポーツ振興課	スポーツ推進事業	日常生活に運動を取り入れる習慣をつくり、健康で生き生きとした生活が送れるよう市民の年齢、適正、健康状態等に応じたスポーツ教室や大会を開催し、スポーツを通して市民が元気にいきいきと暮らすことのできるまちづくりを目的とする。	①元気・健康フェア:世界陸上メダリストの千葉真子氏をゲストにお招きし、ランニング初心者の方を対象に「やさしいランニング教室」を開催すると共に、障がいの有無等に関わらず誰もが取り組めるボッチャ等のスポーツ体験広場を開催した。 ②まぜこぜ運動会・クラブ:バラスポーツコーチの工藤陽介氏をメインコーチ、市内在住のバリンピック出場者等をゲストに迎え、6歳から18歳を対象に障がいの有無、国籍を問わず、月一回、運動遊びを楽しむことができる機会を創出した。 ③スポーツ活動地域支援事業:中学生に対して既存部活動(5種目)を支援する「スキルアップ支援型」で市内6学校の部活動を合同形式で計65回実施した。	30,812	自治組織ラジオ体操実施団体数(団体)	19	19	拡充
						スポーツ事業参加者アンケートで「楽しかった」と答えた子どもの割合(%)	90	100	
2	文化・スポーツ振興課	スポーツ大会事業	幅広い年代、市内各地域が参加できる競技スポーツイベントとコミュニティ・スポーツイベントを開催することで、市民にスポーツ活動の楽しさと健康増進、体力の向上、コミュニティの推進を図る。 また、競技スポーツ人口の増加を目指しながら、スポーツを通じて青少年から高齢者までの生きがいづくりの一助を担う。	①ロードレース大会では、モデルの長谷川理恵氏やコモディイイダ陸上競技部の選手、オリンピック出場経験のある山崎勇喜氏をゲストに迎え、大会を盛り上げた。 ②市民スポーツフェスティバルを東地域と西地域に分けて開催し、子どもから高齢者まで誰もが楽しめる笑顔あふれる運動会を実施した。 ③市民スポーツ大会では、年齢・性別、障がいの有無を問わず、誰もが参加しやすい種目としてボッチャ部門を継続で実施し、計18部門を実施し、子どもから大人まで笑顔あふれる事業となった。	18,879	ロードレース大会参加申込者数(人)	1,465	1,323	継続
						市民スポーツフェスティバル参加者人数(人)	2,530	3,303	
						市民スポーツ大会の参加者数(人)	4,250	3,855	
3	文化・スポーツ振興課	スポーツ施設管理運営事業	生涯スポーツの普及及びスポーツ活動の場の確保、スポーツ施設の整備・充実を図り、利便性のあるスポーツ施設として市民に提供する。管理運営については、指定管理者制度を活用する。	①スポーツセンター総合体育館の空調設備設置 令和8年10月の利用開始に向けて、総合体育館の空調設備の設置工事を進めている。 ②学校体育施設開放運営事業 大井中学校のテニスコートの施設開放を新たに開始した。 ③指定管理者による運用 安全・安心にスポーツができる環境を整備し、また、各種自主事業を企画運営し、市民が気軽にスポーツに親しみ健康づくりに取り組むことができる機会を提供した。	312,360	スポーツ施設の利用率(%)	60	58.9	拡充
						スポーツ施設利用者の満足度(%)	80	57.7	